



岡崎歯科医院

滋賀県草津市大路2-3-6
TEL.077-562-1020 FAX.077-562-6234
http://www.okazaki-dental-office.com

院長 博士(歯学)・歯科医師 インタビュアー
対談 岡崎正・岡崎全宏 × 大仁田厚
滋賀口腔インプラント学術研究会会長 [プロレスラー・元参議院議員]

INTERVIEW
TADASHI OKAZAKI・MASAHIRO OKAZAKI × ATSUSHI ONITA

最新の技術・機器を駆使し、《自分が患者なら行なうってほしい治療》を追求

大仁田 本日は岡崎正院長とご子息の全宏先生が、それぞれの持ち味を生かした診療をされている岡崎歯科医院さんを訪ねました。こちらは開院されて長いそうですね。

岡崎 昭和四十一年四月に開業しましたので、かれこれ四十五年になります。

大仁田 院長は滋賀口腔インプラント学術研究会会長や学校歯科医、高校の評議委員を務められるなど、様々なお立場でも幅広く活躍され、更には文部科学大臣賞も受賞されたと伺っています。

岡崎 青年会議所の理事長やロータリークラブの会長も務めさせてもらいました。院長としては開業当初より《患者様のために、よりよい治療を》をモットーに診療に当たり、新しい治療法を取り入れることにも力を注いでまいりました。特にインプラント治療は昭和五十年代半ばから手掛けており、老舗だと自負しています。また、訪問診療も開業当初草津市福祉課の若い職員さんから「脳性麻痺で動けない人を診てあげてほしい」との依頼を受けたのをきっかけに取り組むようになりました。

大仁田 体の不自由な方や高齢で来院できない方には訪問診療はありがたいですね。

岡崎 当時の訪問診療は保険点数の対象外でしたが、「痛い人がいるのに、見て見ぬ振りではない」という気持ちだけでしたね。その後も老人ホームなどの施設の増加に伴って依頼が増えたことから往診に励み、現在も息子が受け継いで続けています。

大仁田 全宏先生がこちらで診療されるようになったのはいつ頃ですか。

岡崎(全宏) 二年ほど前です。それまでは

母校の大阪歯科大学の研究室に残り、スポーツ歯科で博士号を取得しました。訪問診療に関しては学生時代から父のサポートで経験を積んでいきましたが、更に訪問専門の歯科医院にも勤務してノウハウを磨きました。当院ではスタッフにも勉強してもらいながら、確かな訪問診療のシステムを構築していくよう努力しています。

大仁田 審美歯科も守備範囲だそうですね。

岡崎(全宏) 今まで多くの歯科医院から、「君はせっかく大学で有歯補綴咬合学講座に在籍し、大学病院の補綴咬合治療科で診療を行なっているのだから、その経験を活かしてみたら」と誘って下さったことがありました。審美歯科は補綴の範疇です。大阪・心齋橋で審美歯科を専門にされる歯科医院の院長にも誘って頂き、貴重な経験を積ませて頂きました。もちろん都会の真ん中での治療が当地でそのまま通用することはなく、この地域に根付いた診療を手掛けたいと考えていますが、多様なオプションを提供できることは患者様のためになると確信を持っています。

大仁田 博士号を取得されたスポーツ歯科もその一つですね。

岡崎(全宏) スポーツ歯科はマウスガード(マウスピース)作りがよく知られていると思います。特にアイスホッケーやラグビーなどのコンタクトスポーツでは、衝突によって歯が折れたり歯で唇が切れたりするのを防ぐのにその役割は大きく、脳震盪が軽減されるという試算もあります。

大仁田 マウスピースは外れやすい、息がしにくいという印象があります。

岡崎(全宏) そうですね。ただ、これまで

プロのボクサーやキックボクサー、総合格闘技の選手などにも提供してきましたが、我々専門家が作製するマウスピースは従来のボクサーなどが使っていたものとは全く違うとお考え下さい。外そうと思っても外れないほど適合が良いため試合で使用でき、もちろん呼吸も普通にできます。例えばラグビーではポジションによって走りながら指示することも必要なため、「喋りやすいもの」というニーズにもお応えしています。

大仁田 最近はプロのトップ選手だけでなく、広く普及していますよね。

岡崎(全宏) はい。アマチュアや子供達にも提供する機会が増えており、私もちたしなむました。このようにスポーツ歯科の役割にマウスピース作製がありますが、他にも「スポーツドリンクを不適切に飲用すれば虫歯になりやすい」、「不適正な箇所の親知らずは骨折に繋がる可能性が高いため抜歯した方が良い」など、スポーツ選手へ歯に関する専門的なアドバイスや対応を行なうことができるのがスポーツ歯科です。その啓発のための執筆活動もしています。

大仁田 ところで、こちらでは個人の歯科医院では珍しい歯科用CTも完備されているとか。

岡崎(全宏) 県内では数軒でしょうか。インプラントや審美歯科を行なう関係で

導入していますが、私には「院長は趣味で購入しているのでは」と思えるほど、積極的に最新の機器設備を導入していますね(笑)。

岡崎 《患者様のために、よりよい治療を》とのモットーを実践するため、また、万が一にも医療事故を起こさないための備えとして必要不可欠だと考えています。

大仁田 最後に今後へ向けた抱負を。

岡崎(全宏) できるだけ患者様に痛みを与えないよう配慮した上で、患者様のご希望に沿う、患者様に一番よいと思われる方法を選んで診療する、《自分が患者なら行なうってほしい治療をする》という当院のコンセプトを追求してまいります。また、私は大病院にも籍を置いていますので、常に最新の情報や材料などを吸収できる環境にいます。これまで京都や大阪まで歯科治療に行かれていた地元の方に、「滋賀でも岡崎歯科医院に行けば充分だ」と評価される歯科医院になれるよう頑張りたいですね。

大仁田 多趣味の全宏先生はプロのマジシャンとしても活躍とのこと。お父様同様、地域歯科医療に末永く貢献して下さい。

①INFORMATION

地域の医療に貢献し、「美しい笑顔」を患者様に...



(写真左から)岡崎正院長、大仁田氏、岡崎全宏先生



スタッフの皆さんも交えて

診療時間:午前 9時~12時半 午後 15時~19時
休 診:木・日曜(土曜午後は、基本的にインプラントのオペ日)